**オフライン対応型AIを用いた学校検診支援の有効性評価**

背景

学校心臓検診では、短時間で多くの生徒を診察する必要がある一方で、非専門医による実施も多く、専門知識の補完が課題である。

方法

オープンソースの大規模言語モデルを基に、最新ガイドラインに準拠したオフライン対応の検診支援ソフトウェア(以下独自AI)を開発した。医学生・初期研修医に対し、学校心臓検診に関する問題を、独自AIの支援を受ける場合・従来の検索手法(Web検索)を用いる場合の双方で回答させ、正答率および解答時間を比較した。

結果

独自AIを使用した場合、Web検索を用いた場合と比較して、選択問題の正答率は56%から96%に上昇し(p=0.01)、記述問題では網羅性と正確性が有意に改善した。選択・記述問題ともに解答時間は有意に短縮した。

結論

独自AIの有効性が示された。現場導入により非専門医への手軽な知識支援が期待される。

キーワード　学校心臓検診、AI、オンプレミス、大規模言語モデル、LLM、オフライン

有用性があるかを検討する

有用性=正答率と定義すれば良い感じ！

見逃し予防が達成できる

一貫性は評価する